

# 平成28年度 施政方針

第2次御前崎市総合計画がスタートしました。子どもたちが自慢できるふるさとを残すことを念頭に、市の魅力と活力あふれるまちづくりを推進していきます。

## はじめに

市では、平成18年3月に策定した第1次御前崎市総合計画に基づき、自立と市民協働を基本理念にまちづくりを進めてきました。この10年間では、急激な人口減少や核家族化の進行、社会経済活動の広域化、地域コミュニティの希薄化、南海トラフ巨大地震への防災対応、原子力発電所の安全対策や原子力防災計画に注目が集まるなど、私たちを取り巻く環境は大きく変化してきました。

こうした課題を抱えながらも、市民の皆さまが幸せを実感でき、御前崎市が持続的に発展していくために、また、将来の御前崎市を担う子どもたちが夢や希望を抱くことができるよう、第2次御前崎市総合計画を策定しました。これに併せて、平成47年に人口3万人を維持するため、総合計画から効果的かつ緊急性の高い戦略を抜き出して「御前崎市まち・ひと・しごと総合戦略」をまとめました。

平成28年度は、「子どもたちの夢と希望があふれるまち 御前崎」を将来都市像として掲げた第2次御前崎市総合計画がスタートする年であり、全国一斉に総合戦略への取り組みが加速化し、人口減少に歯止めを掛ける競争が激化する年でもあります。市でも職員一人一人が危機感を抱き、市民や地域、企業、市議会、行政が一丸となり、目標達成に向け、取り組んでいきます。

平成28年度の予算編成にあたって、6項目の重点施策について説明します。

### 大規模災害に備えた 防災体制の強化

自然環境の変化により大型台風の襲来、集中豪雨による洪水や土砂災害が多発することが危惧されています。社会環境の変化に伴い、災害が複雑多様化、大規模化しています。

- ・ 甚大な被害が想定されている南海トラフ巨大地震などには、継続的に大規模地震対策や防災体制の強化を図るため、ハード・ソフト両面の対策を推進していきます。
- ・ 避難困難地域に津波避難タワーの建設や避難路整備
- ・ 災害時における避難所の電源確保
- ・ 自主防災組織の育成や支援
- ・ 原子力災害に係る広域避難計画の策定

あらゆる災害に対応できる消防体制の充実

国の社会資本整備総合交付金を活用した道路整備を進めるとともに、主要道路に架かる橋梁の耐震補強工事や長寿命化工事、道路施設の維持管理を地区ごと精査し、積極的に進めていきます。

平成28年度は、第1次御前崎市道路整備計画の最終年であるため、これを検証するとともに、老朽化した道路施設への対応、大規模災害に備えた道路網の整備など、時代に即した道路整備計画を策定します。

### 市内経済の活性化と 起業支援の推進

電源地域の優位性と御前崎港を活用した企業誘致を推進するとともに、企業ニーズに応えられる工業用地を確保するため、早期の事業化に向けて検討を進めます。

市・市商工会・市内金融機関が連携を図り、市内創業を支援する「御前崎市創業支援事業計画」を基に、創業者のニーズに対応したサポートを実施し、創業の具現化および創業後の事業の安定とさらなる成長を促していきます。

### 子ども・子育て支援と 教育環境の充実

少子高齢化の傾向は全国的なものであり、第2次御前崎市総合計画においても少子化対策は重点施策と位置付けています。

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、平成26年度には子ども医療費の助成を高校生相当年齢まで拡大し、平成27年度か

